

注3

大学番号：069

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

事前伺い

香川大学医学部 臨床心理学科

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 香川大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部総務課

職名・氏名 課長補佐・中屋敷^{ナカヤシキ}隆博^{タカヒロ}

電話番号 087-891-2007

（夜間） 087-891-2007

F A X 087-891-2016

e-mail syokacho@med.kagawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について

(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医学部

<臨床心理学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	28
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 香川大学

(2) 大学名 香川大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒761-0793
香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1
(〒760-8521
香川県高松市幸町1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(カケヒ ヨシユキ) 筧 善行 (平成29年10月)		
理事	(ヤマシタ トシアキ) 山下 明昭 (平成29年10月)	(イマイダ カツミ) 今井田 克己 (平成31年 4月)	辞任に伴い 平成31年4月1日交代 (元)
学部長	(ウエダ ナツオ) 上田 夏生 (平成29年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学部 臨床心理学科 学士(臨床心理学)	文学関係 教育学・保育学関係	4年	20人	0年次人	80人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	20人 (-) [-]	-人	20人 (-) [-]	-人	1.00倍	-	
志願者数	54 (-) [-]	-	71 (-) [-]	-			
受験者数	54 (-) [-]	-	67 (-) [-]	-			
合格者数	25 (-) [-]	-	22 (-) [-]	-			
B 入学者数	20人 (-) [-]	-	20人 (-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	1.00		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		備 考
	平成30年度		令和元年度		
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	20 [-]	- [-]	20 [-]	- [-]	
2年次	- [-] (-)	- [-] (-)	20 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4年次	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	20 [-] (-)		40 [-] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	20 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	40 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 臨床心理学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	人生とキャリア	1-2 ①②③	1									16
	小計(1科目)	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	16
	歴史のなかの21世紀	1-2 ①②③④	1									8
	グローバル社会と異文化理解	1-2 ①②③④	1									25
	情報とコミュニケーション	1-2 ①②③④	1									6
	文化と科学・技術	1-2 ①②③④	1									22
	生命と環境	1-2 ①②③④	1									19
	人間と健康	1-2 ①②③④	1			2						32
	小計(6科目)	-	0	6	0	2	0	0	0	0	0	108
	地域理解(基礎)	1②④	1									2
	地域理解(講義)	1-2 ①②③④	2									15
	地域理解(実践)	1-2 ①②③④	2									20
	小計(3科目)	-	1	4	0	0	0	0	0	0	0	30
	書物との出会い	1-2 ①②	2									15
自然科学基礎実験	1-2 ③④	2									5	
哲学	1-2 ①②③④	2									2	
論理学	1-2 ①②	2									1	
倫理学	1-2 ①②	2									1	
芸術	1-2 ①②	2									3	
心理学	1-2 ①②③④	2			2						3	
社会学	1-2 ①②③④	2									3	
教育学	1-2 ①②	2									1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通科目	人生とキャリア	1-2 ①②③	1									17
	小計(1科目)	-	1	0	0	0	0	0	0	0	0	17
	歴史のなかの21世紀	1-2 ①②③④	1									7
	グローバル社会と異文化理解	1-2 ①②③④	1									12
	情報とコミュニケーション	1-2 ①②③④	1									13
	文化と科学・技術	1-2 ①②③④	1									22
	生命と環境	1-2 ①②③④	1									16
	人間と健康	1-2 ①②③④	1			6						20
	小計(6科目)	-	0	6	0	6	0	0	0	0	0	85
	地域理解(基礎)	1②④	1									2
	地域理解(講義)	1-2 ①②③④	2									15
	地域理解(実践)	1-2 ①②③④	2									18
	小計(3科目)	-	1	3	0	0	0	0	0	0	0	28
	書物との出会い	1-2 ①②	2									16
自然科学基礎実験	1-2 ③④	2									8	
哲学	1-2 ①②③④	2									2	
論理学	1-2 ①②	2									1	
倫理学	1-2 ③④⑤⑥	2									1	
芸術	1-2 ①②③④	2									3	
心理学	1-2 ①②③④	2			2		2				4	
社会学	1-2 ①②③④	2									3	
教育学	1-2 ③④	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 共通科目	歴史学	1-2 ①~ ②③ ④	2								3
	文学	1-2 ③~ ④	2								1
	言語学	1-2 ③~ ④	2								1
	法学	1-2 ①~ ②③ ④	2								3
	政治学	1-2 ③~ ④	2								1
	経済学	1-2 ①~ ②	2								1
	経営学	1-2 ③~ ④	2								1
	数学	1-2 ①~ ②③ ④	2								11
	地学(講義)	1-2 ①~ ②	2								6
	地学(実験)	1-2 ③~ ④	2								3
	物理学(講義)	1-2 ①~ ②③ ④	2								8
	物理学(実験)	1-2 ①~ ②③ ④	2								6
	化学(講義)	1-2 ①~ ②③ ④	2								4
	化学(実験)	1-2 ①~ ②	2								3
	生物学(講義)	1-2 ①~ ②③ ④	2								13
	生物学(実験)	1-2 ①~ ②	2								2
	地理学	1-2 ③~ ④	2								1
	統計学	1-2 ①~ ②	2								1
	情報科学	1-2 ③~ ④	2								2
	医学	1-2 ③~ ④	2								16
看護学	1-2 ①~ ②	2								5	
小計(30科目)	-	6	54	0	0	2	0	0	0	116	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 共通科目	歴史学	1-2 ①~ ②③ ④	2								3
	文学	1-2 ③~ ④	2								2
	言語学	1-2 ③~ ④	2								1
	法学	1-2 ①~ ②③ ④	2								3
	政治学	1-2 ③~ ④	2								1
	経済学	1-2 ①~ ②	2								1
	経営学	1-2 ③~ ④	2								1
	数学	1-2 ①~ ②③ ④	2								13
	地学(講義)	1-2 ①~ ②	2								5
	地学(実験)	1-2 ③~ ④	2								3
	物理学(講義)	1-2 ①~ ②③ ④	2								10
	物理学(実験)	1-2 ①~ ②③ ④	2								5
	化学(講義)	1-2 ①~ ②③ ④	2								5
	化学(実験)	1-2 ①~ ②	2								2
	生物学(講義)	1-2 ①~ ②③ ④	2								4
	生物学(実験)	1-2 ①~ ②	2								2
	地理学	1-2 ③~ ④	2								1
	統計学	1-2 ③~ ④	2								1
	情報科学	1-2 ③~ ④	2								2
	医学	1-2 ③~ ④	2								1
看護学	1-2 ①~ ②	2								4	
小計(30科目)	-	6	52	2	0	2	0	0	0	98	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 科 目	大学 入 門 ゼ ミ	1① ～ ②	2				1				0	
		-	2	0	0	0	1	0	0	0	0	
	情 報 リ テ ラ ン シ	1① ～ ② ③ ～ ④	2								1	
		-	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
	既 修 外 国 語 (英 語)	Communicative English I	1① ～ ②	2								22
		Communicative English II	1③ ～ ④	2								22
		Communicative English III	2① ～ ②	1								28
		Communicative English IV	2③ ～ ④	1								28
		Academic English I	3① ～ ②	1								3
		Academic English II	3① ～ ②	1								4
	小計(6科目)	-	6	2	0	0	0	0	0	0	0	37
	初 修 外 国 語	ドイツ語 I	1① ～ ②	2								8
		ドイツ語 II	1③ ～ ④	2								8
		ドイツ語 III	2① ～ ②	1								5
		ドイツ語会話 III	2① ～ ②	1								1
		フランス語 I	1① ～ ②	2								4
		フランス語 II	1③ ～ ④	2								4
		フランス語 III	2① ～ ②	1								2
		フランス語会話 III	2① ～ ②	1								2
		中国語 I	1① ～ ②	2								6
中国語 II		1③ ～ ④	2								7	
中国語 III		2① ～ ②	1								4	
中国語会話 III		2① ～ ②	1								1	
韓国語 I	1① ～ ②	2								3		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
全 学 共 通 科 目	大学 入 門 ゼ ミ	1① ～ ②	2					1			5	
		-	2	0	0	0	1	0	0	0	5	
	情 報 リ テ ラ ン シ	1① ～ ②	2						2			2
		-	2	0	0	0	2	0	0	0	2	
	既 修 外 国 語 (英 語)	Communicative English I	1① ～ ②	2								4
		Communicative English II	1③ ～ ④	2								4
		Communicative English III	2① ～ ②	1								4
		Communicative English IV	2③ ～ ④	1								4
		Academic English I	3① ～ ②	1								3
		Academic English II	3③ ～ ④	1								2
	小計(6科目)	-	6	2	0	0	0	0	0	0	0	12
	初 修 外 国 語	ドイツ語 I	1① ～ ②	2								6
		ドイツ語 II	1③ ～ ④	2								6
		ドイツ語 III	2① ～ ②	1								4
		ドイツ語会話 III	2① ～ ②	1								1
		フランス語 I	1① ～ ②	2								4
		フランス語 II	1③ ～ ④	2								4
		フランス語 III	2① ～ ②	1								2
		フランス語会話 III	2① ～ ②	1								2
		中国語 I	1① ～ ②	2								6
中国語 II		1③ ～ ④	2								6	
中国語 III		2① ～ ②	1								4	
中国語会話 III		2① ～ ②	1								1	
韓国語 I	1① ～ ②	2								4		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	コミュニケーション科目 初修外国語	韓国語Ⅱ	1③ ~④	2								3
		韓国語Ⅲ	2① ~②	1								2
		韓国語会話Ⅲ	2① ~②	1								1
		小計(16科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	24
	コミュニケーション科目 健康・スポーツ実技	健康・スポーツ実技	1① ~② ③~④	2								16
		小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	16
	高度教養教育科目・広範教養教育科目	防災ボランティア講座	2① ~②	2								4
		防災ボランティア実習	2③ ~④	2								3
		医療と法	2③ ~④	2								2
		海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4 ②	1								3
		サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4 ②	1								2
		知ブラe科目 有機化学概論	1-2-3-4 ①~②	2								1
		知ブラe科目 海洋基礎生態学	1-2-3-4 ①~②	2								1
		小計(7科目)	-	2	10	0	0	0	0	0	0	14
上級英語		1-2-3-4 ③~④	2								3	
小計(1科目)		-	0	2	0	0	0	0	0	0	3	
西洋古典語	ラテン語初歩Ⅰ	1-2-3-4 ①~②	1								1	
	ラテン語初歩Ⅱ	1-2-3-4 ③~④	1								1	
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	コミュニケーション科目 初修外国語	韓国語Ⅱ	1③ ~④	2								3
		韓国語Ⅲ	2① ~②	1								1
		韓国語会話Ⅲ	2① ~②	1								1
		小計(16科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	22
	コミュニケーション科目 健康・スポーツ実技	健康・スポーツ実技	1① ~② ③~④	2								16
		小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	16
	高度教養教育科目・広範教養教育科目	学部提供科目 防災ボランティア講座	2① ~②	2								3
		学部提供科目 防災ボランティア実習	2③ ~④	2								3
		学部提供科目 小計(2科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	4
		高度教養主題科目 医療と法	2③ ~④	2								2
		高度教養主題科目 海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4 ②	1								2
		高度教養主題科目 サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4 ①~②	1								2
		高度教養主題科目 発達障害当事者研究の意義Ⅱ	1-2-3-4 ②	1								1
		高度教養主題科目 ヒューマニティーズプログラム課題研究	1-2-3-4 ①~② ③~④	2								8
高度教養主題科目 知ブラe科目 有機化学概論 初級(未開講)		1-2-3-4 ①~②	2								1	
高度教養主題科目 知ブラe科目 有機化学概論 中級		1-2-3-4 ③~④	2								1	
高度教養主題科目 知ブラe科目 海洋基礎生態学	1-2-3-4 ①~②	2								1		
高度教養主題科目 知ブラe科目 インドネシアの文化と会話	1-2-3-4 ③~④	1								1		
高度教養主題科目 知ブラe科目 海洋地球科学概論	1-2-3-4 ①~②	2								1		
小計(10科目)	-	2	14	0	0	0	0	0	0	19		
上級英語	1-2-3-4 ①~②	2								2		
小計(1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2		
西洋古典語	ラテン語初歩Ⅰ(隔年開講)	1-2-3-4 ①~②	1								1	
	ラテン語初歩Ⅱ(隔年開講)	1-2-3-4 ③~④	1								1	
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
高度教養教育科目・広範教養教育科目	知ブラe科目 大学の知の活用	1③ ~④	2								1
	知ブラe科目 行動統計学入門	1③ ~④	2								1
	知ブラe科目 自動車概論	1③ ~④	2								1
	知ブラ科目 大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1③ ~④	2								1
小計(4科目)		-	0	8	0	0	0	0	0	0	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
高度教養教育科目・広範教養教育科目	知ブラe科目 大学の知の活用	1-2-3-4③ ~④	2								1
	知ブラe科目 行動統計学入門	1-2-3-4③ ~④	2								1
	知ブラe科目 自動車概論	1-2-3-4③ ~④	1								1
	知ブラe科目 大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1-2-3-4③ ~④	2								1
	知ブラe科目 徳島で暮らす・徳島で働くを考える	1-2-3-4①~②	1								1
	知ブラe科目 数理科学の世界	1-2-3-4③~④	2								1
	知ブラe科目 子どもと学校	1-2-3-4③~④	2								1
	知ブラe科目 情報社会のくらし	1-2-3-4③~④	2								1
	知ブラe科目 デジタルものづくり入門	1-2-3-4①~②	1								1
	知ブラe科目 アカデミック・プレゼンテーション (PowerPoint編)	1-2-3-4③~④	1								1
	知ブラe科目 私たちの生活と材料	1-2-3-4③~④	1								1
	知ブラe科目 和算の世界	1-2-3-4③~④	1								1
	知ブラe科目 研究倫理	1-2-3-4③~④	1								1
	知ブラe科目 インタフェースデザイン概論	1-2-3-4③~④	1								1
知ブラe科目 大学生生活入門	1-2-3-4①~②	2								1	
知ブラe科目 学びの統合入門	1-2-3-4③~④	2								1	
知ブラe科目 アクティブラーニング入門	1-2-3-4①~②	1								1	
知ブラe科目 キャリアで活かすITリテラシー	1-2-3-4③~④	1								1	
小計(18科目)		-	0	26	0	0	0	0	0	0	13

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	基幹科目	心理学概論	1① 2②	2			4	2				
		心理学研究法	3① 2②	2				2				
		心理統計法	2① 2②	2				1				
		心理学基礎実験Ⅰ	2① 2②	2				1				
		心理学基礎実験Ⅱ	2③ 2④	2				1				
		臨床心理学	2① 2②	2			1					
	関連科目	早期体験学習(多職種連携)	1③ 2④	2				1				1
		医学概論	1③ 2④	2			2					
		解剖学入門	2①	1								2
		生理学入門	2②	1								2
		生化学・分子生物学入門	2①	1								4
小計(11科目)			-	19	0	0	6	2	0	0	0	9
専門科目	基幹科目	学習心理学	3③ 2④	2				1				
		認知心理学	2③ 2④	2				1				
		生理・神経心理学	3① 2②	2			1					
		生涯発達心理学	2① 2②	2			1					
		青年心理学	3③ 2④	2			1					
		障害者(児)心理学	3① 2②	2			2					
		教育・学校心理学	2③ 2④	2								1
		対人関係論	3③ 2④	2			2					
家族心理学	2① 2②	2				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	基幹科目	心理学概論	1① 2②	2				6	2			
		心理学研究法	3① 2②	2					2			
		心理統計法	2① 2②	2				1				
		心理学実験Ⅰ	2① 2②	2				1				
		心理学実験Ⅱ	2③ 2④	2				1				
		臨床心理学概論	2① 2②	2			1					
	関連科目	早期体験学習(多職種連携)	1③ 2④	2				2	2			2
		人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論)	1③ 2④	2			2					
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)	2①	1								2
		人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)	2②	1								2
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ(生化学・分子生物学入門)	2①	1								4
小計(11科目)			-	19	0	0	6	2	0	0	0	10
専門科目	基幹科目	学習・言語心理学	3③ 2④	2				1				
		知覚・認知心理学	2③ 2④	2				1				
		神経・生理心理学	3① 2②	2			1					
		発達心理学	2① 2②	2			1					
		青年心理学	3③ 2④	2			1					
		障害者・障害児心理学	3① 2②	2			2					
		教育・学校心理学	2③ 2④	2								1
		心理演習Ⅳ(グループ・コミュニケーション演習)	3③ 2④	2			2					
社会・集団・家族心理学	2① 2②	2				1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門科目	関連科目 医学系	病理学・免疫学概説	2③	1								3	
		微生物学・医動物学概説	2④	1									4
		災害医学・緩和ケア	3③	1									4
		医療薬理学	3④	1									1
	教育学系	教育原論	2・3・4① ② ③ ④		2								1
		障害児心理学	2・3・4③ ④		2								1
	課題研究 ゼミ・卒業研究	臨床心理学基礎研究 I	3① ②	2			6	2					
		臨床心理学基礎研究 II	3③ ④	2			6	2					
		臨床心理学研究 I	4① ②	2			6	2					
		臨床心理学研究 II	4③ ④	2			6	2					
卒業研究		4通	4			6	2						
小計(42科目)			-	79	4	0	6	2	0	0	0	24	
合計(132科目)			-	120	116	0	6	2	0	0	0	292	
卒業要件及び履修方法													
全学共通科目 主題科目(主題A、B、C)8単位以上 学問基礎科目(文系科目)6単位以上 学問基礎科目(理系科目)4単位以上 高度教養教育科目・広範教養教育科目2単位以上 大学入門ゼミ2単位 情報リテラシー2単位 既修外国語6単位以上 初修外国語4単位以上 健康スポーツ実技2単位 合計 36単位以上 学部開設科目 専門基礎科目19単位 専門科目79単位以上 合計 98単位以上 総計 134単位以上													

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専門科目	関連科目 医学系	病理学・免疫学概説	2③	1								3	
		微生物学・医動物学概説	2④	1									4
		災害医学・緩和ケア	3③	1									4 (※)
		医療薬理学	3④	1									1
	教育学系	教育原論	2・3・4① ② ③ ④						2				1
		障害児心理学	2・3・4③ ④						2				1
	課題研究 ゼミ・卒業研究	臨床心理学基礎研究 I	3① ②	2			6	2					
		臨床心理学基礎研究 II	3③ ④	2			6	2					
		臨床心理学研究 I	4① ②	2			6	2					
		臨床心理学研究 II	4③ ④	2			6	2					
卒業研究		4通	4			6	2						
小計(42科目)			-	79	0	4	6	2	0	0	0	24	
合計(151科目)			-	120	135	6	6	2	0	0	0	291	
卒業要件及び履修方法													
全学共通科目 主題科目(主題A、B、C)8単位以上 学問基礎科目(文系科目)6単位以上 学問基礎科目(理系科目)4単位以上 高度教養教育科目・広範教養教育科目2単位以上 大学入門ゼミ2単位 情報リテラシー2単位 既修外国語6単位以上 初修外国語4単位以上 健康スポーツ実技2単位 合計 36単位以上 学部開設科目 専門基礎科目19単位 専門科目79単位以上 合計 98単位以上 総計 134単位以上													

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
全学 共通科目	「主題A 人生とキャリア」	1-2 ①② ③	1								17
	小計(1科目)	-	1	0	0	0	0	0	0	0	17
	「主題B 現代社会の諸課題」	1-2 ①② ③④		1							8
	グローバル社会と異文化理解	1-2 ①② ③④		1							11
	情報とコミュニケーション	1-2 ①②		1							8
	文化と科学・技術	1-2 ①② ③④		1							25
	生命と環境	1-2 ①② ③④		1							15
	人間と健康	1-2 ①② ③④		1		4					17
	小計(6科目)	-	0	6	0	4	0	0	0	0	80
	「主題C 地域理解」	1② ④	1								2
	地域理解(講義)	1-2 ①② ③④		1							18
	地域理解(実践)	1-2 ①~ ②③ ~④		2							15
	小計(3科目)	-	1	3	0	0	0	0	0	0	26
	「学問基礎科目」	1-2 ①~ ②	2								17
	書物との出会い	1-2 ③~ ④	2								8
	自然科学基礎実験	1-2 ①~ ②③ ~④	2								2
	哲学	1-2 ①~ ②	2								1
	論理学	1-2 ③④	2								1
	倫理学	1-2 ①~ ②	2								3
芸術	1-2 ①~ ②③ ~④	2		2		2				4	
心理学	1-2 ①~ ②③ ~④	2								3	
社会学	1-2 ③④	2								1	
教育学											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
全学 共通 科目	歴史学	1-2 ①~ ②③ ~④	2								3
	文学	1-2 ③~ ④	2								1
	言語学	1-2 ③~ ④	2								1
	法学	1-2 ①~ ②③ ~④	2								3
	政治学	1-2 ①~ ②	2								1
	経済学	1-2 ①~ ②③ ~④	2								1
	経営学	1-2 ③~ ④	2								1
	数学	1-2 ①~ ②③ ~④	2								13
	地学(講義)	1-2 ①~ ②	2								5
	地学(実験)	1-2 ③~ ④	2								3
	物理学(講義)	1-2 ①~ ②③ ~④	2								10
	物理学(実験)	1-2 ①~ ②③ ~④	2								6
	化学(講義)	1-2 ①~ ②③ ~④	2								5
	化学(実験)	1-2 ①~ ②	2								2
	生物学(講義)	1-2 ①~ ②③ ~④	2								4
	生物学(実験)	1-2 ①~ ②	2								2
	地理学	1-2 ③~ ④	2								1
	統計学	1-2 ①~ ②	2								1
	情報科学	1-2 ③~ ④	2								2
	医学	1-2 ③~ ④	2								1
看護学	1-2 ①~ ②	2								5	
小計(30科目)	-	6	52	2	0	2	0	0	0	101	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
全 学 共 通 科 目	大学入門ゼミ	1① ~ ②	2				2					4	
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	2	0	0	0	0	4	
	情報リテラシー	1① ~ ②	2				2					2	
	小計(1科目)	-	2	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
	既 修 外 国 語 (英 語)	Communicative English I	1① ~ ②	2									4
		Communicative English II	1③ ~ ④	2									4
		Communicative English III	2① ~ ②	1									3
		Communicative English IV	2③ ~ ④	1									3
		Academic English I	3① ~ ②	1									3
		Academic English II	3③ ~ ④	1									3
	小計(6科目)	-	6	2	0	0	0	0	0	0	0	11	
	コ ミュ ニ ケー ション 科 目	ドイツ語 I	1① ~ ②	2									7
		ドイツ語 II	1③ ~ ④	2									7
		ドイツ語 III	2① ~ ②	1									5
		ドイツ語会話 III	2① ~ ②	1								1	1
		フランス語 I	1① ~ ②	2									4
		フランス語 II	1③ ~ ④	2									4
		フランス語 III	2① ~ ②	1									2
		フランス語会話 III	2① ~ ②	1									2
		中国語 I	1① ~ ②	2									5
中国語 II		1③ ~ ④	2									6	
中国語 III		2① ~ ②	1									3	
中国語会話 III		2① ~ ②	1								1	1	
韓国語 I		1① ~ ②	2									3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	コミュニケーション科目	韓国語Ⅱ	1③ ~④	2								3
		韓国語Ⅲ	2① ~②	1								1
		韓国語会話Ⅲ	2① ~②	1								1
		小計(16科目)	-	0	24	0	0	0	0	0	0	22
	健康・スポーツ実技	健康・スポーツ実技	1① ~② ③~④	2								18
		小計(1科目)	-	2	0	0	0	0	0	0	0	18
	高度教養教育科目・広範教養教育科目	防災ボランティア講座	2① ~②	2								3
		防災ボランティア実習	2③ ~④	2								2
		医療と法	2③ ~④	2								2
		海外体験型異文化コミュニケーションⅡ	1-2-3-4 ②	1								2
		サーバント・リーダー養成入門Ⅱ	1-2-3-4 ②	1								2
		知ブラe科目 有機化学概論 初級	1-2-3-4 ①~②	2								1
		知ブラe科目 有機化学概論 中級	1-2-3-4 ③~④	2								1
		知ブラe科目 海洋基礎生態学	1-2-3-4 ①~②	2								1
		知ブラe科目 インドネシアの文化と会話	1-2-3-4 ③~④	1								1
		知ブラe科目 海洋地球科学概論	1-2-3-4 ①~②	2								1
	小計(10科目)	-	2	15	0	0	0	0	0	0	14	
	上級英語	Study Abroad	1-2-3-4 ①~②	2								1
		小計(1科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	1
西洋古典語	ラテン語初歩Ⅰ (隔年開講)	1-2-3-4 ①~②	1								1	
	ラテン語初歩Ⅱ (隔年開講)	1-2-3-4 ③~④	1								1	
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	1	
広範教養主題科目	知ブラe科目 大学の知の活用	1-2-3-4 ③~④	2								1	
	知ブラe科目 行動統計学入門	1-2-3-4 ③~④	2								1	
	知ブラe科目 自動車概論	1-2-3-4 ③~④	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学 共通科目	高度教養教育科目・広範教養教育科目 広範教養主題科目	知ブラe科目 大学生のための『安全・安心』の基礎講座	1-2 3-4 ③~ ④	2								1
		知ブラe科目 徳島で暮らす・徳島で働くを考える	1-2 3-4 ①~ ②	1								1
		知ブラe科目 数理科学の世界	1-2 3-4 ③~ ④	2								1
		知ブラe科目 子どもと学校	1-2 3-4 ③~ ④	2								1
		知ブラe科目 情報社会のくらし	1-2 3-4 ③~ ④	2								1
		知ブラe科目 デジタルものづくり入門	1-2 3-4 ①~ ②	1								1
		知ブラe科目 アカデミック・プレゼンテーション (PowerPoint編)	1-2 3-4 ③~ ④	1								1
		知ブラe科目 私たちの生活と材料	1-2 3-4 ③~ ④	1								1
		知ブラe科目 和算の世界	1-2 3-4 ③~ ④	1								1
		知ブラe科目 研究倫理	1-2 3-4 ③~ ④	1								1
		知ブラe科目 インタフェースデザイン概論	1-2 3-4 ③~ ④	1								1
		知ブラe科目 大学生生活入門	1-2 3-4 ①~ ②	2								1
		知ブラe科目 学びの統合入門	1-2 3-4 ③~ ④	2								1
知ブラe科目 アクティブラーニング入門	1-2 3-4 ①~ ②	1								1		
知ブラe科目 キャリアで活かすITリテラシー	1-2 3-4 ③~ ④	1								1		
	小計(18科目)	-	0	26	0	0	0	0	0	0	0	12
専門 基礎科目	基幹科目 心理系	心理学概論	1① ②	2		6	2					
		心理学研究法	3① ②	2			2					
		心理学統計法	2① ②	2			1					
		心理学実験Ⅰ	2① ②	2			1					
		心理学実験Ⅱ	2③ ④	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎科目	心理学系	臨床心理学概論	2① 2②	2			1					
	医学系	早期体験学習(多職種連携)	1③ 1④	2			2	2				2
		人体の構造と機能及び疾患Ⅰ(医学概論)	1③ 1④	2			2					
		人体の構造と機能及び疾患Ⅱ(解剖学入門)	2①	1								2
		人体の構造と機能及び疾患Ⅲ(生理学入門)	2②	1								2
	人体の構造と機能及び疾患Ⅳ(生化学・分子生物学入門)	2①	1								4	
	小計(11科目)	-	19	0	0	6	2	0	0	0	10	
専門科目	基礎科目	心理学系	学習・言語心理学	3③ 3④	2			1				
		知覚・認知心理学	2③ 2④	2			1					
		神経・生理心理学	3① 3②	2			1					
		発達心理学	2① 2②	2			1					
		青年心理学	3③ 3④	2			1					
		障害者・障害児心理学	3① 3②	2			2					
		教育・学校心理学	2③ 2④	2								1
		心理系	心理演習Ⅳ(グループ・コミュニケーション演習)	3③ 3④	2			2				
		社会・集団・家族心理学	2① 2②	2				1				
		心理演習Ⅴ(コミュニケーション・アプローチ演習)	4① 4②	2			1	1				
		福祉心理学	3① 3②	2			2					1
		司法・犯罪心理学	3① 3②	2								1
		産業・組織心理学	3③ 3④	2				1				
心理的アセスメント	2③ 2④	2			1							
心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習)	3① 3②	2			2							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	基幹科目	心理学系	感情・人格心理学	2① ②	2			1					
			健康・医療心理学	3③ ④	2			3					
			心理学的支援法 (カウンセリング概論)	2① ②	2			1					
			人間性心理学	3③ ④	2			2	1				
			公認心理師の職責 (心理師実践職能論)	2③ ④	2			4	1				
			心理演習Ⅰ(コミュニケーション演習)	2③ ④	2			2					
			心理演習Ⅱ(心理面接演習)	3① ②	2			2					
	心理実習Ⅰ(心理支援実習)	3通	2			4	1						
	社会学系	関係行政論(社会学・関係行政論)	2③ ④	2								1	
		社会福祉論	2① ②	2								1	
	医学系	医学系	人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説)	3① ②	2			1					
			発達小児科学	3③ ④	2								6
			精神疾患とその治療(精神医学)	3① ②	2			1					
			心身医学	3③ ④	2			1					
			生命倫理学	2②	1			1					
			心理実習Ⅱ(チーム医療実習)	4通	4			5					
			病理学・免疫学概説	2③	1								3
			微生物学・医動物学概説	2④	1								4
			災害医学・緩和ケア	3③	1								3
			医療薬理学	3④	1								1
関連科目	教育系	教育原論	2・3・4① ② ③ ④			2						1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
専 門 科 目	関連科目 教育系 障害児心理学	2・3・ 4③ ④			2							1	
	課題研究 ゼミ・卒業研究	臨床心理学基礎 研究Ⅰ	3① ②	2			6	2					
		臨床心理学基礎 研究Ⅱ	3③ ④	2			6	2					
		臨床心理学研究 Ⅰ	4① ②	2			6	2					
		臨床心理学研究 Ⅱ	4③ ④	2			6	2					
		卒業研究	4通	4			6	2					
小計(42科目)		-	79	0	4	6	2	0	0	0	0	24	
合計(149科目)		-	120	132	6	6	2	0	0	0	0	288	
卒業要件及び履修方法													
<p>全学共通科目 主題科目(主題A、B、C)8単位以上 学問基礎科目(文系科目)6単位以上 学問基礎科目(理系科目)4単位以上 高度教養教育科目・広範教養教育科目2単位以上 大学入門ゼミ2単位 情報リテラシー2単位 既修外国語6単位以上 初修外国語4単位以上 健康スポーツ実技2単位 合計 36単位以上</p> <p>学部開設科目 専門基礎科目19単位 専門科目79単位以上 合計 98単位以上</p> <p>総計 134単位以上</p>													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

【全学共通科目】

・授業科目の区分変更

- ・「心理学」を選択科目から自由科目に変更
- ・「心理学」は学部開設科目を通じて十分に学習する一方で、全学共通科目の学問基礎科目では、幅広い教養を身に付けさせることを目的としているため、学問基礎科目に含まれる「心理学」を自由科目に変更した。
- ・カリキュラム内容調整により「人生とキャリア」の兼任・兼任教員を変更(16→17)
- ・カリキュラム内容調整のため「グローバル社会と異文化理解」の兼任・兼任教員を変更(25→11)
- ・カリキュラム内容調整のため「情報とコミュニケーション」の兼任・兼任教員を変更(6→8)
- ・カリキュラム内容調整のため「情報とコミュニケーション」の配当年次を変更(1・2①②③④→1・2①②)
- ・カリキュラム内容調整のため「文化と科学・技術」の兼任・兼任教員を変更(22→25)
- ・カリキュラム内容調整のため「生命と環境」の兼任・兼任教員を変更(19→15)
- ・カリキュラム内容調整のため「人間と健康」の担当教員を変更(教授2→教授4)、兼任・兼任教員を変更(32→17)
- ・誤謬により「地域理解(講義)」の単位数を訂正(2→1)
- ・カリキュラム内容調整のため「地域理解(講義)」の兼任・兼任教員を変更(15→18)
- ・カリキュラム内容調整のため「地域理解(実践)」の兼任・兼任教員を変更(20→15)
- ・カリキュラム内容調整のため「書物との出会い」の兼任・兼任教員を変更(15→17)
- ・カリキュラム内容調整のため「自然科学基礎実験」の兼任・兼任教員を変更(5→8)
- ・カリキュラム内容調整のため「倫理学」の配当年次を変更(1・2①②→1・2③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「心理学」の科目区分を変更(選択科目から自由科目に変更)
- ・カリキュラム内容調整のため「心理学」の兼任・兼任教員を変更(3→4)
- ・カリキュラム内容調整のため「教育学」配当年次を変更(1・2①②→1・2③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「政治学」の配当年次を変更(1・2③④→1・2①②)
- ・カリキュラム内容調整のため「経済学」配当年次を変更(1・2①②→1・2③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「数学」の兼任・兼任教員を変更(11→13)
- ・カリキュラム内容調整のため「地学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(6→5)
- ・カリキュラム内容調整のため「物理学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(8→10)
- ・カリキュラム内容調整のため「化学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(4→5)
- ・カリキュラム内容調整のため「化学(実験)」の兼任・兼任教員を変更(3→2)
- ・カリキュラム内容調整のため「生物学(講義)」の兼任・兼任教員を変更(13→4)
- ・カリキュラム内容調整のため「医学」の兼任・兼任教員を変更(16→1)

- ・クラス編成のため「大学入門ゼミ」の担当教員を変更(准教授1→准教授2)、兼任・兼任教員を変更(0→4)
- ・クラス編成のため「情報リテラシー」の配当年次を変更(1①②③④→1①②)
- ・クラス編成のため「情報リテラシー」の担当教員を変更(准教授0→准教授2)、兼任・兼任教員を変更(1→2)
- ・クラス編成のため「Communicative English I」の兼任・兼任教員を変更(22→4)
- ・クラス編成のため「Communicative English II」の兼任・兼任教員を変更(22→4)
- ・クラス編成のため「Communicative English III」の兼任・兼任教員を変更(28→3)
- ・クラス編成のため「Communicative English IV」の兼任・兼任教員を変更(28→3)

- ・誤謬により「Academic English II」の配当年次を訂正(3①~②→3③~④)
- ・クラス編成のため「Academic English II」の兼任・兼任教員を変更(4→3)
- ・クラス編成のため「ドイツ語I」の兼任・兼任教員を変更(8→7)
- ・クラス編成のため「ドイツ語II」の兼任・兼任教員を変更(8→7)
- ・クラス編成のため「中国語I」の兼任・兼任教員を変更(6→5)
- ・クラス編成のため「中国語II」の兼任・兼任教員を変更(7→6)
- ・クラス編成のため「中国語III」の兼任・兼任教員を変更(4→3)
- ・クラス編成のため「韓国語III」の兼任・兼任教員を変更(2→1)
- ・クラス編成のため「健康・スポーツ実技」の兼任・兼任教員を変更(16→18)
- ・クラス編成のため「防災ボランティア講座」の兼任・兼任教員を変更(4→3)
- ・クラス編成のため「防災ボランティア実習」の兼任・兼任教員を変更(3→2)
- ・クラス編成のため「海外体験型異文化コミュニケーションII」の兼任・兼任教員を変更(3→2)
- ・クラス編成のため「知ブラe科目 有機化学概論」を「知ブラe科目 有機化学概論 初級」、「有機化学概論 中級」の2科目に変更
- ・四国地区における「5国立大学連携構想」の中の大学教育共同実施計画に伴い、高度教養主題科目に「知ブラe科目」(「インドネシアの文化と会話」、「海洋地球科学概論」)を追加しカリキュラムを充実させた。
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 大学の知の活用」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 行動統計学入門」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 自動車概論」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・誤謬により「知ブラe科目 自動車概論」の単位数を訂正(2→1)
- ・カリキュラム内容調整のため「知ブラe科目 大学生のための「安全・安心」の基礎講座」の配当年次を変更(1③④→1・2・3・4③④)
- ・四国地区における「5国立大学連携構想」の中の大学教育共同実施計画に伴い、広範教養主題科目に「知ブラe科目」(「徳島で暮らす・徳島で働くを考える」、「数理科学の世界」、「子どもと学校」、「情報社会のくらし」、「デジタルものづくり入門」、「アカデミック・プレゼンテーション(PowerPoint編)」、「私たちの生活と材料」、「和算の世界」、「研究倫理」、「インタフェースデザイン概論」、「大学生活入門」、「学びの統合入門」、「アクティブラーニング入門」、「キャリアで活かすITリテラシー」)を追加しカリキュラムを充実させた。
- ・カリキュラム内容調整のため「Study Abroad」の配当年次を変更(1・2・3・4③④→1・2・3・4①②)

【学部開設科目】

・授業科目の区分変更

- ・カリキュラム内容調整により、専門科目「教育原論」、「障害児心理学」を選択科目から自由科目に変更
- ・授業科目名変更(公認心理師の学部カリキュラム対応のため)
- ・「心理統計法」から「心理学統計法」に変更
- ・「心理学基礎実験I」から「心理学実験I」に変更
- ・「心理学基礎実験II」から「心理学実験II」に変更
- ・「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更
- ・「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病I(医学概論)」に変更
- ・「解剖学入門」から「人体の構造と機能及び疾病II(解剖学入門)」に変更
- ・「生理学入門」から「人体の構造と機能及び疾病III(生理学入門)」に変更
- ・「生化学・分子生物学入門」から「人体の構造と機能及び疾病IV(生化学・分子生物学入門)」に変更
- ・「学習心理学」から「学習・言語心理学」に変更
- ・「認知心理学」から「知覚・認知心理学」に変更
- ・「生理・神経心理学」から「神経・生理心理学」に変更
- ・「生涯発達心理学」から「発達心理学」に変更
- ・「障害者(児)心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更
- ・「対人関係論」から「心理演習IV(グループ・コミュニケーション演習)」に変更
- ・「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学」に変更
- ・「社会・地域・集団心理学」から「心理演習V(コミュニティ・アプローチ演習)」に変更
- ・「司法心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更
- ・「産業心理学」から「産業・組織心理学」に変更
- ・「心理アセスメントI」から「心理的アセスメント」に変更
- ・「心理アセスメントII」から「心理演習III(心理的アセスメント演習)」に変更

- ・「人格心理学」から「感情・人格心理学」に変更
 - ・「医療心理学」から「健康・医療心理学」に変更
 - ・「カウンセリング概論」から「心理学的支援法（カウンセリング概論）」に変更
 - ・「心理師実践概論」から「公認心理師の職責（心理師実践概論）」に変更
 - ・「心理面接演習Ⅰ」から「心理演習Ⅰ（コミュニケーション演習）」に変更
 - ・「心理面接演習Ⅱ」から「心理演習Ⅱ（心理面接演習）」に変更
 - ・「心理臨床実習」から「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」に変更
 - ・「社会医学・関係行政論」から「関係行政論（社会医学・関係行政論）」に変更
 - ・「心理援助職のための内科的疾患概説」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅴ（心理援助職のための内科的疾患概説）」に変更
 - ・「精神医学」から「精神疾患とその治療（精神医学）」に変更
 - ・「チーム医療実習」から「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」に変更
- ・専任教員等の配置変更（授業内容の充実のため）
 専門基礎科目・専門科目
 - ・「心理学概論」：「教授4、准教授2」から「教授6、准教授2」に変更
 - ・「早期体験学習（多職種連携）」：「教授1、兼任1」から「教授2、准教授2、兼任2」に変更
 - ・「心理演習Ⅴ（コミュニティ・アプローチ演習）」：「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更
 - ・「心理演習Ⅲ（心理的アセスメント演習）」：「教授1」から「教授2」に変更
 - ・「心理演習Ⅰ（コミュニケーション演習）」：「教授1」から「教授2」に変更
 - ・「心理実習Ⅱ（チーム医療実習）」：「教授2」から「教授5」に変更
 - ・専任教員等の配置変更（授業内容の見直しのため）
 - ・「心理実習Ⅰ（心理支援実習）」：「教授6、准教授2」から「教授4、准教授1」に変更
- ・兼任教員の変更
 - ・「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ（生理学入門）」：「兼任・准教授・山口文徳」から「兼任・教授・藤原祐一郎」に変更
 兼任2名のうち1名の兼任教員転出のため：)
 - ・兼任教員の追加
 - ・「早期体験学習（多職種連携）」指導体制充実のため、兼任教員・坂東修二准教授追加。
 - ・配当年次の変更（教育課程の見直しのため）
 - ・「心理演習Ⅴ（コミュニティ・アプローチ演習）」：「2年後期」から「4年前期」に変更

【令和元年度】

- 【全学共通科目】
- ・カリキュラム内容調整により「歴史のなかの21世紀」の兼任・兼任教員を変更（8→7）
 - ・カリキュラム内容調整により「グローバル社会と異文化理解」の兼任・兼任教員を変更（25→12）
 - ・カリキュラム内容調整により「情報とコミュニケーション」の配当年次を変更（1・2①②→1・2①②③④）※設置計画のとおり修正
 - ・カリキュラム内容調整により「情報とコミュニケーション」の兼任・兼任教員を変更（6→13）
 - ・カリキュラム内容調整により「文化と科学・技術」の兼任・兼任教員を変更（25→22）※設置計画のとおり修正
 - ・カリキュラム内容調整により「生命と環境」の兼任・兼任教員を変更（19→16）
 - ・カリキュラム内容調整により「人間と健康」の担当教員を変更（教授2→教授6）、兼任・兼任教員を変更（32→20）
 - ・カリキュラム内容調整により「地域理解（講義）」の兼任・兼任教員を変更（18→15）※設置計画のとおり修正
 - ・カリキュラム内容調整により「地域理解（実践）」の兼任・兼任教員を変更（20→18）
 - ・カリキュラム内容調整により「書物との出会い」の兼任・兼任教員を変更（15→16）
 - ・カリキュラム内容調整により「芸術」の配当年次を変更（1・2①→②→1・2①②③④）
 - ・カリキュラム内容調整により「文学」の兼任・兼任教員を変更（1→2）
 - ・カリキュラム内容調整により「政治学」の配当年次を変更（1・2①②→③④）※設置計画のとおり修正
 - ・カリキュラム内容調整により「経済学」の配当年次を変更（1・2③④→1・2①②）※設置計画のとおり修正
 - ・カリキュラム内容調整により「経営学」の配当年次を変更（1・2③④→1・2①②）
 - ・カリキュラム内容調整により「物理学（実験）」の兼任・兼任教員を変更（6→5）
 - ・カリキュラム内容調整により「統計学」の配当年次を変更（1・2①②→1・2③④）
 - ・カリキュラム内容調整により「看護学」の兼任・兼任教員を変更（5→4）
 - ・カリキュラム内容調整により「大学入門ゼミ」の担当教員を変更（准教授2→准教授1）※設置計画のとおり修正、兼任・兼任教員を変更（0→5）
 - ・カリキュラム内容調整により、高度教養主題科目に「発達障害当事者研究の意義Ⅱ」を、特別教育プログラム新規開設のため「ヒューマニティーズプログラム課題研究」を追加しカリキュラムを充実させた。
 - ・カリキュラム内容調整により「防災ボランティア講座」「防災ボランティア実習」の科目区分を変更（高度教養主題科目→学部提供科目）
 - ・カリキュラム内容調整により「防災ボランティア実習」の兼任・兼任教員を変更（2→3）※設置計画のとおり修正
- ・クラス編成のため「Communicative English Ⅲ」の兼任・兼任教員を変更（28→4）
 - ・クラス編成のため「Communicative English Ⅳ」の兼任・兼任教員を変更（28→4）
 - ・クラス編成のため「Academic English Ⅱ」の兼任・兼任教員を変更（4→2）
 - ・クラス編成のため「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員を変更（8→6）
 - ・クラス編成のため「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員を変更（8→6）
 - ・クラス編成のため「ドイツ語Ⅲ」の兼任・兼任教員を変更（5→4）
 - ・クラス編成のため「中国語Ⅰ」の兼任・兼任教員を変更（5→6）※設置計画のとおり修正
 - ・クラス編成のため「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員を変更（3→4）※設置計画のとおり修正
 - ・クラス編成のため「韓国語Ⅰ」の兼任・兼任教員を変更（3→4）
 - ・クラス編成のため「健康・スポーツ実技」の兼任・兼任教員を変更（18→16）※設置計画のとおり修正
 - ・クラス編成のため「Study Abroad」の兼任・兼任教員を変更（3→2）
- 【学部開設科目】
- ・誤謬により「人体の構造と機能及び疾病Ⅰ（医学概論）」の授業科目の名称を訂正（「疾患」→「疾病」）
 - ・誤謬により「人体の構造と機能及び疾病Ⅱ（解剖学入門）」の授業科目の名称を訂正（「疾患」→「疾病」）
 - ・誤謬により「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ（生理学入門）」の授業科目の名称を訂正（「疾患」→「疾病」）
 - ・誤謬により「人体の構造と機能及び疾病Ⅳ（生化学・分子生物学入門）」の授業科目の名称を訂正（「疾患」→「疾病」）
 - ・カリキュラム内容調整により「関係行政論（社会医学・関係行政論）」の配当年次を変更（2③④→2①②）
- （※）昨年、「災害医学・緩和ケア」の兼任・兼任教員数を3名と報告したが、誤謬であった。昨年度、今年度ともに、設置計画のとおり兼任・兼任教員を4名配置している。

- （注）・ 2（1）① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

（2） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
64 科目	68 科目	0 科目	132 科目	64 科目 [0]	84 科目 [16]	3 科目 [3]	151 科目 [19]	

- （注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	知プラe科目 有機化学概論 初級	2	1・2・3・4 ①～②	一般	選択	講師急病のため令和元年度未開講。代替措置なし。

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2	廃止科目なし					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「知プラe科目 有機化学概論 初級」は、四国5大学連携による知のプラットフォーム形成事業「四国におけるe-Knowledgeを基盤とした大学間連携による大学教育の共同実施」の一環として高知大学から提供されている授業科目である。次年度以降の開講については高知大学と調整する予定である。また、学生には平成31年3月27日付けで休講掲示を出して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{132} = \boxed{0.75} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎敷地の内、10,148㎡ を香川県より借用（毎年 更新）		
	校舎敷地	165,625㎡	0㎡	0㎡	165,625㎡			
	運動場用地	80,981㎡	0㎡	0㎡	80,981㎡			
	小 計	246,606㎡	0㎡	0㎡	246,606㎡			
	そ の 他	704,405㎡	0㎡	0㎡	704,405㎡			
	合 計	951,011㎡	0㎡	0㎡	951,011㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		170,034㎡ (170,034㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	170,034㎡ (170,034㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		4室	1室	4室	1室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		医学部 臨床心理学科			8 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体 ※博物館資産登録済の 標本数は311 購入による増刷、汚破 損等による除籍(元)
	医学部 臨床心理学科	873,572 [268,647] 868,430 [268,272]	23,334 [7,161] 25,545 [7,342]	5,521 [4,171] 5,566 [4,180]	9,201 9,120	0	1,033	
		(873,572 [268,647]) (868,430 [268,272])	(23,334 [7,161]) (25,545 [7,342])	(5,521 [4,171]) (5,566 [4,180])	(9,201) (9,120)	(0)	(1,033)	
	計	873,572 [268,647] 868,430 [268,272]	23,334 [7,161] 25,545 [7,342]	5,521 [4,171] 5,566 [4,180]	9,201 9,120	0	1,033	
		(873,572 [268,647]) (868,430 [268,272])	(23,334 [7,161]) (25,545 [7,342])	(5,521 [4,171]) (5,566 [4,180])	(9,201) (9,120)	(0)	(1,033)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	11,506㎡		966席		1,104,000冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	5,577㎡		運動場 5面		テニスコート 14面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	香川大学									備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度		所在地
教育学部	年	人	年次人	人	人	学士(教育学)(教養学)	倍	年度	年度	年度	
学校教育教員養成課程	4	160	-	640	640	学士(教育学)	1.03	-	平成15	-	
人間発達環境課程	4	-	-	-	-	学士(教養学)	-	-	平成15	香川県高松市幸町1番1号	平成30年より学生募集停止
法学部	4	160	3年次10	660	660	学士(法学)	1.04	-	平成15	-	上段は昼間コース、下段は夜間主コース
(昼夜開講制)											
法学科(昼)	4	150	3年次10	620	620	学士(法学)	1.08	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	
(夜)		10	-	40	40		0.55	-	平成15	同上	
経済学部	4	250	3年次20	1,040	1,040	学士(経済学)	1.02	-	平成30	-	上段は昼間コース、下段は、夜間主コース
(昼夜開講制)											
経済学科(昼)	4	-	-	-	-	学士(経済学)	-	-	平成15	香川県高松市幸町2番1号	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経営システム学科(昼)	4	-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
地域社会システム学科(昼)	4	-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
(夜)		-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
経済学科(昼)	4	240	3年次20	1,000	1,000	学士(経済学)	1.03	-	平成30	香川県高松市幸町2番1号	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
(夜)		10	-	40	40		0.75	-	平成30	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
医学部	6	109	2年次5	609	609	学士(医学)	1.00	平成30	平成15	-	
	4	80	3年次10	340	340	学士(看護学)(臨床心理学)	1.04	-	平成15 平成30	-	
医学科	6	109	2年次5	609	609	学士(医学)	1.00	平成30	平成15	香川県木田郡三木町大字池戸1750番地1	平成21・22・24・25・30年度収容定員増による学年進行平成31年度入学者に適用される学則上の収容定員を記載
看護学科	4	60	3年次10	260	260	学士(看護学)	1.04	-	平成15	同上	
臨床心理学科	4	20	-	80	80	学士(臨床心理学)	1.00	-	平成30	同上	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
創造工学部	4	330	3年次20	1,360	1,360	学士(工学)	1.03	-	平成30	-	
創造工学科	4	330	3年次20	1,360	1,360	学士(工学)	1.03	-	平成30	香川県高松市林町2217番地20	平成29年度事前伺い平成30年4月設置
工学部	4	-	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成15	-	
安全システム建設工学科	4	-	-	-	-	学士(工学)	-	-	平成15	香川県高松市林町2217番地20	平成30年より学生募集停止
電子・情報工学科	4	-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
知能機械システム工学科	4	-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
材料創造工学科	4	-	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成30年より学生募集停止
農学部	4	150	-	600	600	学士(農学)	1.03	-	平成18	-	
応用生物科学科	4	150	-	600	600	学士(農学)	1.03	-	平成18	香川県木田郡三木町大字池戸2393番地	
大学全体(学部)	4	1,130	3年次60	4,640	4,640	-	1.03	-	-	-	
	6	109	2年次5	609	609	-	1.00	-	-	-	

大学 の 名 称	香 川 大 学									備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
教育学研究科										
修士課程	2	37	-	74	修士 (教育学)	0.51	-	平成15	-	
学校教育専攻	2	12	-	24	修士 (教育学)	0.58	-	平成15	香川県高松市幸 町1番1号	
教科教育専攻	2	18	-	36		0.52	-	平成15	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14		0.35	-	平成15	同上	
専門職学位課程	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.17	-	平成28	-	
高度教職実践専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	1.17	-	平成28	同上	
法学研究科	2	8	-	16	修士 (法学)	0.87	-	平成15	-	
修士課程										
法律学専攻	2	8	-	16	修士 (法学)	0.87	-	平成15	香川県高松市幸 町2番1号	
経済学研究科	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	-	平成15	-	
修士課程										
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.60	-	平成15	香川県高松市幸 町2番1号	
医学系研究科										
修士課程	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.65	-	平成15	-	
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.65	-	平成15	香川県木田郡三 木町大字池戸 1750番地1	
博士課程	4	30	-	120	博士 (医学)	1.12	-	平成28	-	
機能構築医学専攻	4	-	-	-	博士 (医学)	-	-	平成15	同上	平成28年より学 生募集停止
分子情報制御医学専攻	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成28年より学 生募集停止
社会環境病態医学専攻	4	-	-	-		-	-	平成15	同上	平成28年より学 生募集停止
医学専攻	4	30	-	120		1.12	-	平成28	同上	平成27年度事前伺 い平成28年4月設置
工学研究科										
博士前期課程	2	78	-	156	修士 (工学)	1.34	-	平成15	-	
安全システム建設工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	0.63	-	平成15	香川県高松市林 町2217番地20	
信頼性情報システム工学 専攻	2	24	-	48		1.20	-	平成15	同上	
知能機械システム工学専攻	2	18	-	36		1.80	-	平成15	同上	
材料創造工学専攻	2	18	-	36		1.80	-	平成15	同上	
博士後期課程	3	22	-	66	博士 (工学)	0.46	-	平成16	-	
安全システム建設工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.60	-	平成16	同上	
信頼性情報システム工学 専攻	3	7	-	21		0.14	-	平成16	同上	
知能機械システム工学専攻	3	5	-	15		0.93	-	平成16	同上	
材料創造工学専攻	3	5	-	15		0.33	-	平成16	同上	
農学研究科	2	60	-	120	修士 (農学)	0.91	-	平成30	-	
修士課程										
生物資源生産学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	-	平成18	香川県木田郡三 木町大字池戸 2393番地	平成30年より学 生募集停止
生物資源利用学専攻	2	-	-	-		-	-	平成18	同上	平成30年より学 生募集停止
応用生物・希少糖科学専攻	2	60	-	120	修士 (農学)	0.91	-	平成30	同上	平成29年度事前伺 い平成30年4月設置

大学の名称	香川大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の学 科のみ)	開設 年度	所 在 地	
地域マネジメント研究科	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	-	平成16	-	
専門職学位課程 地域マネジメント 専攻	2	30	-	60	経営修士 (専門職)	0.93	-	平成16	香川県高松市幸 町2番1号	
大学全体（大学院）	2	253	-	506	-	0.97	-	-	-	
	3	22	-	66	-	0.46	-	-	-	
	4	30	-	120	-	1.12	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<医学部 臨床心理学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹森 元彦 <平成30年4月> 教育学修士
		心理学概論 臨床心理学 対人関係論 福祉心理学 人間性心理学 心理師実践職能論 心理面接演習 II 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		山田 俊介 <平成30年4月> 文学修士
専	教授	心理学概論 対人関係論 カウンセリング概論 心理師実践職能論 心理面接演習 I 心理面接演習 II 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		橋本 忠行 <平成30年4月> 修士(教育心理学)
		心理学概論 心理アセスメント I 心理アセスメント II 人格心理学 心理師実践職能論 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹森 元彦 <平成30年4月> 教育学修士
		心理学概論 臨床心理学概論 心理演習IV(グループ・コミュニケーション演習) 福祉心理学 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理演習I(コミュニケーション演習) 心理演習II(心理面接演習) 心理実習I(心理支援実習) 心理実習II(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		山田 俊介 <平成30年4月> 文学修士
専	教授	心理学概論 心理演習IV(グループ・コミュニケーション演習) 心理学的支援法(カウンセリング概論) 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理演習I(コミュニケーション演習) 心理演習II(心理面接演習) 心理実習I(心理支援実習) 心理実習II(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		橋本 忠行 <平成30年4月> 修士(教育心理学)
		心理学概論 心理演習V(コミュニティ・アプローチ演習) 心理学的アセスメント 心理演習III(心理的アセスメント演習) 感情・人格心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習I(心理支援実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹森 元彦 <平成30年4月> 教育学修士
		心理学概論 臨床心理学概論 心理演習IV(グループ・コミュニケーション演習) 福祉心理学 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理演習I(コミュニケーション演習) 心理演習II(心理面接演習) 心理実習I(心理支援実習) 心理実習II(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		山田 俊介 <平成30年4月> 文学修士
専	教授	心理学概論 心理演習IV(グループ・コミュニケーション演習) 心理学的支援法(カウンセリング概論) 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理演習I(コミュニケーション演習) 心理演習II(心理面接演習) 心理実習I(心理支援実習) 心理実習II(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究
		橋本 忠行 <平成30年4月> 修士(教育心理学)
		心理学概論 心理演習V(コミュニティ・アプローチ演習) 心理学的アセスメント 心理演習III(心理的アセスメント演習) 感情・人格心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習I(心理支援実習) 臨床心理学基礎研究 I 臨床心理学基礎研究 II 臨床心理学研究 I 臨床心理学研究 II 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	林 智一 <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学概論 生涯発達心理学 青年心理学 障害者(児)心理学 福祉心理学 医療心理学 人間性心理学 心理師実践職能論 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	教授	神原 憲治 <平成30年4月> 博士(医学)
		早期体験学習(多職種連携) 医学概論 医療心理学 心理臨床実習 心理援助職のための内科的疾患概説 心身医学 チーム医療実習 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	教授	黒滝 直弘 <平成30年4月> 博士(医学)
		医学概論 生理・神経心理学 障害者(児)心理学 医療心理学 心理臨床実習 精神医学 生命倫理学 チーム医療実習 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	林 智一 <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学概論 発達心理学 青年心理学 障害者・障害児心理学 福祉心理学 健康・医療心理学 心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習) 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習Ⅰ(心理支援実習) 心理実習Ⅱ(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	教授	神原 憲治 <平成30年4月> 博士(医学)
		心理学概論 早期体験学習(多職種連携) 人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論) 健康・医療心理学 人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説) 心身医学 心理実習Ⅱ(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	教授	黒滝 直弘 <平成30年4月> 博士(医学)
		心理学概論 早期体験学習(多職種連携) 人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論) 神経・生理心理学 障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 精神疾患とその治療(精神医学) 生命倫理学 心理実習Ⅱ(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	林 智一 <平成30年4月> 博士(心理学)
		心理学概論 発達心理学 青年心理学 障害者・障害児心理学 福祉心理学 健康・医療心理学 心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習) 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 心理実習Ⅰ(心理支援実習) 心理実習Ⅱ(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	教授	神原 憲治 <平成30年4月> 博士(医学)
		心理学概論 早期体験学習(多職種連携) 人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論) 健康・医療心理学 人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説) 心身医学 心理実習Ⅱ(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	教授	黒滝 直弘 <平成30年4月> 博士(医学)
		心理学概論 早期体験学習(多職種連携) 人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論) 神経・生理心理学 障害者・障害児心理学 健康・医療心理学 精神疾患とその治療(精神医学) 生命倫理学 心理実習Ⅱ(チーム医療実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野口 修司 ＜平成30年4月＞ 修士(心理学)
		心理学概論 心理学研究法 家族心理学 社会・集団・家族心理学 産業心理学 人間性心理学 心理師実践職能論 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	准教授	川人(杉野本)潤子 ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		心理学概論 心理学研究法 心理統計法 心理学基礎実験Ⅰ 心理学基礎実験Ⅱ 学習心理学 認知心理学 心理臨床実習 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
兼任	教授	岡田 宏基 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	教授	荒木 伸一 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学入門
兼任	教授	三木 崇範 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		解剖学入門
兼任	教授	平野 勝也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		生理学入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野口 修司 ＜平成30年4月＞ 修士(心理学)
		早期体験学習(多職種連携) 心理学概論 心理学研究法 社会・集団・家族心理学 心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習) 産業・組織心理学 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	准教授	川人(杉野本)潤子 ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		早期体験学習(多職種連携) 心理学概論 心理学研究法 心理学統計法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 学習・言語心理学 知覚・認知心理学 心理実習Ⅰ(心理支援実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
兼任	教授	岡田 宏基 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	准教授	坂東 修二 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	教授	荒木 伸一 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)
兼任	教授	三木 崇範 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)
兼任	教授	平野 勝也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野口 修司 ＜平成30年4月＞ 修士(心理学)
		早期体験学習(多職種連携) 心理学概論 心理学研究法 社会・集団・家族心理学 心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習) 産業・組織心理学 人間性心理学 公認心理師の職責(心理師実践職能論) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
専	准教授	川人(杉野本)潤子 ＜平成30年4月＞ 博士(心理学)
		早期体験学習(多職種連携) 心理学概論 心理学研究法 心理学統計法 心理学実験Ⅰ 心理学実験Ⅱ 学習・言語心理学 知覚・認知心理学 心理実習Ⅰ(心理支援実習) 臨床心理学基礎研究Ⅰ 臨床心理学基礎研究Ⅱ 臨床心理学研究Ⅰ 臨床心理学研究Ⅱ 卒業研究
兼任	教授	岡田 宏基 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	准教授	坂東 修二 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		早期体験学習(多職種連携)
兼任	教授	荒木 伸一 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)
兼任	教授	三木 崇範 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)
兼任	教授	平野 勝也 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	准教授	山口 文徳 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		生理学入門
兼担	教授	上田 夏生 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		生化学・分子生物学入門
兼担	教授	神鳥 成弘 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		生化学・分子生物学入門
兼担	教授	竹崎 直子 ＜平成30年4月＞ 博士(哲学)
		生化学・分子生物学入門
兼担	教授	中村 隆範 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		生化学・分子生物学入門
兼担	教授	平尾 智広 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		社会医学・関係行政論
兼担	教授	日下 隆 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		発達小児科学
兼担	准教授	岡田 仁 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼担	教授	西田 智子 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		発達小児科学
兼担	講師	岩瀬 孝志 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	藤原 祐一郎 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅲ (生理学入門)
兼担	教授	上田 夏生 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	神鳥 成弘 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	竹崎 直子 ＜平成30年4月＞ 博士(哲学)
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	中村 隆範 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	平尾 智広 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		関係行政論(社会医学・関係行政論)
兼担	教授	日下 隆 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		発達小児科学
兼担	准教授	岡田 仁 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼担	教授	西田 智子 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		発達小児科学
兼担	講師	岩瀬 孝志 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	藤原 祐一郎 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅲ (生理学入門)
兼担	教授	上田 夏生 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	神鳥 成弘 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	竹崎 直子 ＜平成30年4月＞ 博士(哲学)
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	中村 隆範 ＜平成30年4月＞ 理学博士
		人体の構造と機能及び疾病Ⅳ (生化学・分子生物学入門)
兼担	教授	平尾 智広 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		関係行政論(社会医学・関係行政論)
兼担	教授	日下 隆 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		発達小児科学
兼担	准教授	岡田 仁 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼担	教授	西田 智子 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		発達小児科学
兼担	講師	岩瀬 孝志 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	近藤 園子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼任	助教	加藤 育子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼任	教授	上野 正樹 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	星野 克明 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		病理学・免疫学概説
兼任	准教授	横平 政直 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	桑原 知巳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	藤井 豊 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	准教授	新井 明治 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	講師	今大路 治之 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	辻 晃仁 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	黒田 泰弘 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	芳地 一 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		医療薬理学
兼任	教授	櫻井 佳樹 ＜平成30年4月＞ 教育学修士
		教育原論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	近藤 園子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼任	助教	加藤 育子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼任	教授	上野 正樹 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	星野 克明 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		病理学・免疫学概説
兼任	准教授	横平 政直 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	桑原 知巳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	藤井 豊 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	准教授	新井 明治 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	講師	今大路 治之 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	辻 晃仁 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	黒田 泰弘 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	芳地 一 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		医療薬理学
兼任	教授	櫻井 佳樹 ＜平成30年4月＞ 教育学修士
		教育原論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	近藤 園子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼任	助教	加藤 育子 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		発達小児科学
兼任	教授	上野 正樹 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	星野 克明 ＜平成30年4月＞ 博士(理学)
		病理学・免疫学概説
兼任	准教授	横平 政直 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		病理学・免疫学概説
兼任	教授	桑原 知巳 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	藤井 豊 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	准教授	新井 明治 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	講師	今大路 治之 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		微生物学・医動物学概説
兼任	教授	辻 晃仁 ＜平成30年4月＞ 博士(医学)
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	黒田 泰弘 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		災害医学・緩和ケア
兼任	教授	芳地 一 ＜平成30年4月＞ 医学博士
		医療薬理学
兼任	教授	櫻井 佳樹 ＜平成30年4月＞ 教育学修士
		教育原論

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

専任教員の配置変更
・平成30年4月1日 「心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習)」指導体制充実のため、橋本忠行教授追加
・平成30年4月1日 「心理演習Ⅲ(心理テスト演習)」指導体制充実のため、林智一教授追加
・平成30年4月1日 「心理演習Ⅰ(コミュニケーション演習)」指導体制充実のため、竹森元彦教授追加
・平成30年4月1日 「心理実習Ⅱ(チーム医療実習)」指導体制充実のため、山田俊介教授、竹森元彦教授、林智一教授追加
・平成30年4月1日 「心理実習Ⅰ(心理支援実習)」授業内容見直しのため、担当教員3名減(黒滝直弘、神原憲治教授、野口修司准教授)
・平成30年4月1日 「心理学概論」授業内容充実のため、黒滝直弘教授、神原憲治教授を追加
・平成30年4月1日 「早期体験学習(多職種連携)」授業内容充実のため、黒滝直弘教授、野口修司准教授、川人潤子准教授を追加
兼任教員の配置変更
・平成30年4月1日 兼任教員・山口文徳准教授辞任(平成30年3月31日)のため、担当科目「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)」を藤原祐一郎教授に変更
・平成30年4月1日 指導体制充実のため、兼任教員・坂東修二准教授追加。(「早期体験学習(多職種連携)」の兼任教員として追加)
授業科目名変更(公認心理師の学部カリキュラム対応のため)
・「心理統計法」から「心理学統計法」に変更
・「心理学基礎実験Ⅰ」から「心理学実験Ⅰ」に変更
・「心理学基礎実験Ⅱ」から「心理学実験Ⅱ」に変更
・「臨床心理学」から「臨床心理学概論」に変更
・「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅰ(医学概論)」に変更
・「解剖学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅱ(解剖学入門)」に変更
・「生理学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅲ(生理学入門)」に変更
・「生化学・分子生物学入門」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅳ(生化学・分子生物学入門)」に変更
・「学習心理学」から「学習・言語心理学」に変更
・「認知心理学」から「知覚・認知心理学」に変更
・「生理・神経心理学」から「神経・生理心理学」に変更
・「生涯発達心理学」から「発達心理学」に変更
・「障害者(児)心理学」から「障害者・障害児心理学」に変更
・「対人関係論」から「心理演習Ⅳ(グループ・コミュニケーション演習)」に変更
・「家族心理学」から「社会・集団・家族心理学」に変更
・「社会・地域・集団心理学」から「心理演習Ⅴ(コミュニティ・アプローチ演習)」に変更
・「司法心理学」から「司法・犯罪心理学」に変更
・「産業心理学」から「産業・組織心理学」に変更
・「心理アセスメントⅠ」から「心理的アセスメント」に変更
・「心理アセスメントⅡ」から「心理演習Ⅲ(心理的アセスメント演習)」に変更
・「人格心理学」から「感情・人格心理学」に変更
・「医療心理学」から「健康・医療心理学」に変更
・「カウンセリング概論」から「心理学的支援法(カウンセリング概論)」に変更
・「心理師実践職能論」から「公認心理師の職責(心理師実践職能論)」に変更
・「心理面接演習Ⅰ」から「心理演習Ⅰ(コミュニケーション演習)」に変更
・「心理面接演習Ⅱ」から「心理演習Ⅱ(心理面接演習)」に変更
・「心理臨床実習」から「心理実習Ⅰ(心理支援実習)」に変更
・「社会医学・関係行政論」から「関係行政論(社会医学・関係行政論)」に変更
・「心理援助職のための内科的疾患概説」から「人体の構造と機能及び疾病Ⅴ(心理援助職のための内科的疾患概説)」に変更
・「精神医学」から「精神疾患とその治療(精神医学)」に変更
・「チーム医療実習」から「心理実習Ⅱ(チーム医療実習)」に変更

【令和元年度】

兼任教員の配置変更
・記載漏れのため、「災害医学・緩和ケア」の兼任教員として、柘植薫技術職員(臨床心理士)を名簿に記載(授業科目表と一致)

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	6
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
6	2	0	0	8	6	2	0	0	8
(6)	(2)	(0)	(0)	(8)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
6	4	1	0	11	6	4	1	0	11
[0]	[2]	[1]	[0]	[3]	[0]	[2]	[1]	[0]	[3]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{8} = \boxed{137.5} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての**専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{8} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 該当なし </div>		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学部 臨床心理学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<div style="border: 1px solid black; width: 30%; margin: 0 auto; padding: 10px;"> <p style="font-size: 24px; margin: 0;">該当なし</p> </div>	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 医学部教育センター FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 開催回数：年1回 平成31年2月4日開催 委員出席数12名／(12名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>議題1 2019年度FD委員会委員について 議題2 平成30年度FDおよび授業公開実施報告について 議題3 2019年度FD実施計画(年間スケジュール)について 議題4 新任教員研修プログラムについて 議題5 その他</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>【平成31年度予定FD】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CBTに関するFD ・チュートリアル・PBLチュートリアルFD ・授業公開『悪性腫瘍（生殖系ユニット）』（周産期学婦人科学） ・授業公開『前立腺癌（腎・泌尿器ユニット）』（泌尿器科学） ・授業公開『未定（医学科講義）』 ・授業公開『未定（看護学科講義）』 ・授業公開『PBLチュートリアル発表会（臨床心理学科講義）』 ・医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成31年度 第1回～第6回） ・医学部教育センターFD ・看護学科入試に関するFD ・障害学生に関するFD ・DRI教育に関するFD ・海外留学報告会（年間2回実施予定） <p>b 実施方法 講演会方式</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【平成30年度開催状況】

- ・ CBTに関するFD 3月23日 50人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第1回） 4月24日 280人
- ・ チュートリアル・PBLチュートリアルFD 5月9日 58人
- ・ 医学部研究戦略セミナー 5月11日 74人
- ・ 授業公開『チュートリアル発表会』 7月4日 18人
- ・ 授業公開『生理学Ⅰ』 7月12日 24人
- ・ 看護学科入試に関するFD 8月9日 21人
- ・ 障害のある学生に対する支援に関するFD・SD 9月27日 63人
- ・ 授業公開『生理学Ⅱ』 10月2日 15人
- ・ 国家試験対策及び試験問の作成に関するFD 10月15日 83人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第4回） 10月19日 147人
- ・ 『ハラル食』ってなんだろう？ 11月15日 5人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第5回） 11月27日 83人
- ・ 授業公開『医療管理学・診断学』 12月3日 11人
- ・ 授業公開『母性看護学概論』 12月4日 11人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第6回） 1月28日 239人
- ・ 医学部倫理委員会 教育訓練講習会（平成30年度第7回） 3月18日 212人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

医学部において、教員の資質向上のため、毎年、年間を通じて多様な分野・領域からの講習会を開催している。いずれの講習会も授業担当教員としての責務の再確認に有益だけでなく、医学教育の基盤を拡充させる新たな取り組みを啓発する内容である。特に医学・生命倫理に関する講習会では、平成30年度全5回で約1000人（病院職員含む）の参加があり、当該分野への意識の高さが伺えると同時に医学部教育の質の向上に寄与していると考えられる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各科目の終了毎に実施

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果は教職員HPで公表しフィードバックしている。学生にも紙媒体で公表している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年4月、医学部に臨床心理学科を開設して以降、心理学・臨床心理学に加え、医学の基礎並びに附属病院との連携による実践的な心理実習を通じてのチーム医療・援助等を学ぶための教育課程の運用を始めた。本学科は、それらを通じて心理援助者の養成を目的としている。平成30年度には、公認心理師の学部カリキュラムへの対応を行い、規定にある必要科目の基準を満たしていることが確認された。公認心理師カリキュラムの対応の結果として、設置計画時の科目名称の大幅な変更が必要となったが、学生の資格取得に資するものかつ心理援助者養成という目的に適った対応であったと考える。また、教育体制充実のため、令和2年には教員組織の充実のために新たに教員3名の採用を決定した(令和元年)。

以上のように、変更が見られつつも、教育課程、教員組織の充実も図られており、当初計画が履行されていると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・年次進行終了後の令和3年度に自己点検評価(大学全体)を実施・公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に機関別認証評価を受けるべく、学内で検討中。

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和元年度)

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表(予定)時期 (令和元年 8月 1日)

(注)・今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。